

埼玉県腸管出血性大腸菌検出状況(2021 年)

埼玉県で 2021 年に検出され、衛生研究所で確認した腸管出血性大腸菌は 111 株でした。111 株の血清型は、O26:H11 が 47 株 (42.3%) と最も多く、次いで O157:H7 が 29 株 (26.1%)、O156:H25 が 6 株 (5.4%) と続きました (表)。O26:H11 は、保育園での集団感染事例の影響により、他の血清型に比べ多く検出されました。また、O156:H25 の 6 株については、届出時には O 血清型不明とされていましたが、国立感染症研究所による詳細な検査の結果、血清型が O156:H25 と判明しました。この血清型は全国でも約 60 株検出されており、例年より多い傾向でした。O156:H25 は主に無症状病原体保有者から分離されたため、他県を含め喫食状況等の情報が十分でなく、現時点で感染原因は不明です。

毒素型については、O26:H11 では VT1 単独産生株が 46 株、VT1,VT2 産生株が 1 株でした。O157:H7 では VT1,VT2 産生株が 20 株、VT2 単独産生株が 9 株でした (表)。

検出された 111 株のうち、47 株 (42.3%) は、患者発生に伴う家族検便や給食従事者等に対する定期検便により、無症状者から検出されたものでした。特に、最も多く検出された O26:H11 では 48.9% (23 株/47 株) が無症状者から検出されました。

表 検出された腸管出血性大腸菌の血清型・毒素型別検出数 (2021)

血清型	毒素型			計
	VT1	VT2	VT1&2	
O157:H7		9	20	29
O157:H-		1	3	4
O26:H11	46		1	47
O26:H-	1			1
O111:H-	1		2	3
O103:H2	4			4
O156:H25	6			6
O177:H-		2		2
その他	8	5	2	15
	66	17	28	111

検出株については、MLVA 法による遺伝子型別を実施しました。O157:H7 は 29 株が 23 パターンに、O26:H11 では 47 株が 13 パターンに分けられました。特に O26:H11 では、集団感染事例の影響で、26 株 (55.3%) が特定の MLVA 型に集積がしました。

施設における集団感染の拡大を防止するため、早期の探知と共に検診による感染状況の把握を適切に行うことが重要となります。

手足口病

手足口病は夏季に流行する小児の代表的なウイルス感染症です。エンテロウイルスのうちコクサッキーウイルス A (CV-A) 群、エンテロウイルス A (EV-A) 71 などが主な原因ウイルスとなります。埼玉県感染症発生動向調査による県内定点医療機関からの報告数は、2022 年第 30 週 (7 月 25 日～7 月 31 日) において 1 定点当たり 6.04 人となり、2019 年以来 3 年ぶりに警報レベル開始基準値 (5.00) を超えました (【今週の注目される定点把握対象疾患の推移 図 1】参照)。

手足口病からのウイルス検出状況 ～ 今夏の流行は ” CV-A6 ” ～

2022 年 1 月から 7 月の間に病原体定点で採取され、埼玉県衛生研究所に搬入された患者検体は 22 検体で、このうち 20 検体が 6 月以降の採取でした。14 検体から CV-A6 が検出されており (表 1)、今夏の手足口病流行の主たるウイルスは CV-A6 と考えられます。CV-A6 が検出された検体の患者年齢は、すべて 1～3 歳でした。

過去 4 年を振り返ると、2018 年は CV-A16 と EV-A71 が、2019 年は CV-A6 と CV-A16 が多く検出されています (表 2)。2020 年及び 2021 年は感染症発生動向調査からは手足口病の流行が見られず、また搬入検体・検出ウイルスともに少なかったため、ウイルスの傾向は読み取れませんでした。

表 1 手足口病からのウイルス検出状況 (2022 年 1 月～7 月)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	計
2022	検体数	1		1		9	11	22
	CV- A6					6	8	14
	CV- A16			1				1
	検査中						3	3

表 2 手足口病からのウイルス検出状況 (2018 年～2021 年)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
2018	検体数		1	4	11	11	13	9	9	5	4		67
	CV- A6										1		1
	CV- A9							2	1	2			5
	CV- A16				1	3	4	2	3	4	3	3	23
	EV- A71			1	2	6	3	6	3	1			22
2019	検体数	1	2	1	3	8	14	7	8	3	4	3	54
	CV- A6					5	9	5	2				21
	CV- A10								1				1
	CV- A16			1			4		1	3	4	3	16
2020	検体数			1		1	2	1		1	2	1	9
	CV- A6											1	1
2021	検体数				3	5	4	1		2	1	2	18
	CV- A4							1					1
	CV- A6										1	1	2

病原体定点医療機関の先生方には、流行ウイルスの把握のため、引き続き検体採取にご協力をお願いいたします。